

大牟田市教育委員会 10月定例会

1. 開催日時

令和元年10月16日(水) 14時25分～15時47分まで

2. 場 所

大牟田市教育委員会室

3. 出席者

安田教育長、山本委員、嶋田委員、東委員、笹井委員

4. 欠席委員

なし

5. 出席事務局職員

中村事務局長、平野総務課長、富安調整監、大倉野生涯学習課長、楠生涯学習課青少年担当課長、徳川地域コミュニティ推進課長、荒木指導室長、加藤生涯学習課主幹、吉富生涯学習課主査、龍生涯学習課担当

6. 傍聴人

0名

7. 会議

14時25分、教育長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認及び変更の確認を行った。非公開の発議はなく全案件を公開と決定された。

(報告事項)

1 第72回成人式について【生涯学習課】

教育長 第72回成人式についてお願いします。

青少年担当課長 第72回成人式について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 第72回成人式実施要綱について

教育長 何か質問はありませんか。

委 員 広報の件でお尋ねします。

毎年、司会や誓いのことばを公募されていますが、このところあまり応募がないというふうに聞いていますが、案内のハガキには記載されていますか。

青少年担当主査 はい、ハガキにもご案内をさせていただいております。

- 委員 今年は、受付時に渡される袋の放置が目立っていたようですが、例年と何か変わったことはありませんでしたか、中身など。
- 青少年担当主査 袋の中には、市長等のメッセージや資料が入っており、例年と変わっていません。
- 委員 会場の玄関やソファーを見たら、放置されているなど。その他には、例年と比べてトラブル等ありましたか。
- 青少年担当課長 若干、ありましたが、極端に大きなトラブルというところではありません。
- 青少年担当主査 今年は、警察に来ていただきました。
式場に入らない成人の小競り合いがあったり、成人式が終わった後、みんなが出てきたところでの小競り合いがあったり、警察に2回程のお願いをしました。
- 委員 私は、例年と比べて、少し雰囲気が違うなと思いました。式典中は、中にいましたが、式場の外に出たときの感じが・・・。
そういうことを何か変えようとの考えは、ありませんか。
- 青少年担当課長 今年からすぐに変えることは厳しいと思いますが、他の市町村では、新成人が運営自体に携わっているところもありますので、今後はそういった形で検討できないかというふうには、考えています。
ただ、それをすぐに来年からとなりますと大掛かりになりますので、少し時間をかけて検討していきたいと思います。
- 委員 まちづくりは、人づくりではないけど、E S Dの盛り上がりを新成人にも何か啓発できればいいと思います。
- 青少年担当課長 新成人の方がいろいろと考えて、自分達でどう盛り上げていくのかというところで検討しています。
- 委員 うまくリンクすればいいですね。
- 委員 転出した方の参加者数ですが、例年何人ぐらいですか。
- 青少年担当主査 100人を超える人数がいらっしゃいます。
- 委員 思ったよりも多いですね。
- 教育長 他に質問はありませんか。
無いようでしたらご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

2 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究報告書案について【地域コミュニティ推進課、生涯学習課】

- 教育長 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究報告書案についてお願いします。
- 生涯学習課長 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究報告書案について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 研究結果の中間報告からの修正箇所や不完全部分の完成形について説明

教育長
委員

何か質問はありませんか。

まず、2ページですが、4の中に社会教育におけるESDの推進を掲げていただいたことです。

学校教育の中で行われているESDは、子ども達だけが育つのではなくて、社会教育では、大人もESDの学びから育ってくださいということも掲げてもらったことで、ESDは子ども達だけではないのだということもしっかり書いていただいた。ありがとうございました。

次に92ページの(8)のところに、若者自身が企画、実施するボランティア活動のことを書いていただいたと思います。

今、大牟田の小学校、中学校の子ども達は、一人一人が社会の担い手になる学びをしており、子ども達が自分たちで何かをするという力を持っていると思うのですね。

だから、それが、実現できる喜びも知っているのも、この子ども達が高校生、また、若者になっていったときに、100ページに出ている「②青年自身が活躍の場をつくり出す取組み」に繋がると思いました。

それで、生涯学習も「学習」というのは勉強だけで考えるのではないということを書いていただいていると思いますので、自分達の力が発揮できることが喜びになっていくだろうし、そうなってくると、137ページの「【取組み2】高校生等のまちづくりへの参画」ということを書いていただいたところが、非常にありがたいと思いました。

高校生総合文化祭など、高校生が自分たちで企画している部分があるから、これをもう少し、進めていただけることによって、小学校、中学校で学んできた子ども達が、まず自分たちのことをやってみて、次は地域にという次のステップに繋がっていきけるのではないかと考えています。系統立てて書いていただいたことをありがたいと思いますので、引き続き、お願いしたいと思います。

教育長

他に質問はありませんか。

無いようでしたらご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

3 平成30年度 全国児童生徒体力・運動能力、運動習慣等の調査結果について【指導室】

教育長

平成30年度 全国児童生徒体力・運動能力、運動習慣等の調査結果に

ついてお願いします。

指導室長 平成30年度 全国児童生徒体力・運動能力、運動習慣等の調査結果について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 小学5年生、中学2年生の体格及び体力の状況、生活習慣・運動習慣について調査を行ったことの説明
- ・ 各調査項目の結果の詳細、並びに本市における体力向上のための取組み

教育長 何か質問はありませんか。

委員 長座体前屈の件ですが、10年ぐらい前はもっと低かったように思えますが、今も残念ながら全国平均までは至らないのですが、随分上がってきたと思いますので、取組みの効果が出てきているなと思いました。一番効果があったのは何でしょうか。

指導室長 まずは、日頃の運動の経験だと思いますが、例えば、大牟田では、子ども大牟田ストレッチを開発し、DVD等含めて全学校に配布しています。

各学校では、体育の準備運動で使用したり、運動会の準備運動で使用したり、ストレッチ運動の奨励をしていますので、その効果として、現れているのではないのかと思っております。それと調査に対するテストの行い方の違いもあります。

体が冷えているときに行うよりも、何種目か実施した後に測定したり、準備運動を十分に行ったりということで、まずは、体力測定は、各個人の最大の力を発揮するようにテストを行います。

また、練習は十分していいし、やり方については、きちっと理解させ、正しく測定できるようにしています。

委員 すごく差があった記憶があるので、ここまできたんだなと思って、ありがとうございました。

それから、2点目です。

調査校数と参加校数の割合については、全国では100%ではないのに、大牟田市は100%であるので、大牟田市はスポーツ都市の宣言するぐらい意識が高いことはとてもうれしいです。

委員 6ページ中学校の男子の身長は、全国と比べると1センチ程低いのですか。こればかりは、運動したから伸びるとかの問題でもないようですが。

指導室長 毎年度、小学5年生と中学2年生が対象なっていますので、年度によって違いがあります。対象の児童・生徒が違いますので、たまたま今年度の児童・生徒は、昨年度よりも若干低かったと。

委員 中学生の体力については、いかがでしょうか。

指導室長 一昨年度から中学校は、大きな改善が見られております。

中学校は、9ページをご覧ください。こちらが一番下が体力の合計点数と

なっております、総合すると男女ともに全国平均よりも高い値を示しております。

一昨年度からは、中学校の体育部会と教育委員会と協議を行い、それぞれ中学校の実態に応じた体力向上の取組みをしてきました。

学校によって、また、学年の生徒によって実態が違うので、各学校で体力向上プランの中で重点化を図り、取り組んだ結果が、昨年度改善が図られて、今年度も継続しているところです。

委員 大牟田市の女子児童ですが、これまで5年間は、やせていたが、肥満傾向にあるのは、今年だけですか。

指導室長 はい、そうです。

委員 ちょうど、3年前の中学生が、同じようなことでした。

もう一つですが、13ページのテレビやDVDの視聴時間には、ゲームの時間は含まれていますか。

指導室長 設問が、テレビやDVDの視聴時間ですので、ゲームが入っているかどうかの把握は分かりかねます。

委員 スマートフォンが、入っているのか分からないのですね。

指導室長 はい、全国的な設問となっております。

委員 では、答える側もあやふやかもしれませんね。

逆に中学生になると、大牟田市は良くなっています。

委員 中学生になるとスマホを触る時間が増えると思うのですが。

委員 はい、中学生になると時間が長くなるかと思いました。

委員 13ページですが、小学生や中学生もなんですけれども、「家の人から運動やスポーツをよく勧められている」というところでは、それは、稽古としての野球だったり、サッカーだったり、入部しなさいということでしょうか。

それとも、外でちょっと運動してきなさいという意味でしょうか。

指導室長 この設問も、捉え方によって、答え方が変わってきます。

委員 先程、中学生の体力が上がってきたというのは、中学校の給食が始まった影響はありますか。

指導室長 そこまでは、分かりかねます。

委員 食事でも大事ですからね。

委員 細やかにしてもらっているのも、もしかして、給食の要因があるのかなと思ったので、後10年ぐらい経過したら分析してください。

教育長 他に質問はありませんか。

無いようでしたらご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

(審議事項)

議案第10号 大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について【学務課給食担当課】

教育長 大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
お願いします。

給食担当課長 大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員を任命するもの
- ・ 令和2年4月から三池小学校、銀水小学校、上内小学校及び吉野小学校の委託更新に係る委託業者の選定について

教育長 何か質問はありませんか。

委員 業者選定スケジュールの件でお尋ねします。

「②業者説明会・現地見学会」は、9月27日で終わっていますが、応募の締め切りはいつまでだったのでしょうか。

給食担当課長 公募の期間につきましては、10月29日までとしております。

委員 では、それから1次審査があるという流れになるのですね。

委員 現在の小中学校の委託の状況を教えていただきたいのですが、近年はなかなか委託を受ける業者が少ないと聞いていますが、それに関しては、どうでしょうか。

給食担当課長 まず、1点目の小中学校の委託の現状ですが、中学校につきましては、ご存知のとおり、中学校給食センターで調理業務につきましては、株式会社メフォスへ委託しオープン当初から現在まで行っております。

小学校につきましては、現在19校ございますが、その内15校を委託しているところでございます。

15校の内訳といたしましては、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社に委託しているのが7校、それから、中村学園事業部に委託しているのが6校、それと中学校給食センターと同じ業者である株式会社メフォスに委託しているのが2校の計15校という状況でございます。

それから、2点目の最近の人手不足の状況でございますが、委員おっしゃるように、そのような話は委託業者の方からもあり、厳しいとのこととして、昨年度は、中学校給食センター調理業務の更新の選定とそれから、小学校の更新及び平原小、高取小の新規導入に伴う、選定を行ったところでございますが、1者の応募で1者の決定という厳しい状況でございます。

ただ、今回につきましては、先日現地説明会を実施いたしましたけれども、その参加業者については2者の参加をいただいております。

以上でございます。

委員 3校で、トータル2者ということですか。

給食担当課長 今回は、先程申し上げた、4校を一括で、三池小学校、銀水小学校、上内小学校、吉野小学校の一括で委託ということで、募集をかけておりました、それに対して、2者の説明会への参加があったところです。

委員 委託期間をもう一度教えてください。

給食担当課長 委託期間は、4ヵ年になっております。

委員 はい、私も委託期間を聞こうと思っていました。

吉野小学校にいたときは、給食の先生が作っていましたので、それが業者が変わり、また、今回業者が変わるということだったので、何年で変わるのかと思ひまして。

教育長 他に質問はありませんか。

無いようでしたら、承認してよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

教育長 それでは承認します。

(協議事項)

1 大牟田市文化芸術振興プランの改訂について【生涯学習課】

教育長 大牟田市文化芸術振興プランの改訂についてお願いします。

生涯学習課長 大牟田市文化芸術振興プランの改訂について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 令和2年度以降の大牟田市文化芸術振興プランの改訂についての素案について、関係団体の意見を求め、それらを反映させた最終案を作成し、今年度末までに完成させる予定

教育長 何か質問はありませんか。

委員 17ページでお尋ねです。

一番上の文章の「本市では子どもの文化芸術活動が充実していると思うか」という設問の文化芸術活動とは何を想定されていたのでしょうか。

生涯学習課長 私どもが設問の設定をしたときには、実際に活動されるものと、あと、直接の鑑賞の機会、こういったものを含めて設定しました。

場所は、問わずそういったことが、充実していると思うかどうかということをお尋ねしたくてこの設定をいたしました。

委員 ということは、子ども達が行うということに加えて、子ども達が芸術に触れるとかそういったことも含めるということですね。

生涯学習課長 はい、そうです。

- 委員 分かりました。
- 生涯学習課長 この設問をどのように捉えるのかと思ったので、どういう思いで設問されたのかなと思っただけの質問でした。
- 委員 改めて、設問を読みますと、少し曖昧な聞き方になってしまったのかなと思います。
- 生涯学習課長 でも、おっしゃっている意味も分かりますし、子ども達が文化芸術に触れているかどうかというところが、実際は、あんまり触れていないと思っ
ている方もいらっしゃるのかなと思いますし、こうやって調べていただいたことについてはありがとうございました。
- 委員 もう一つは、普段子どもに接する方にとっては、分かりやすい設問だったと思うのですが、無作為抽出による郵送だったので、身近に子どもさんがいらっしゃる方にとっては、「そういうこと聞かれてもちょっと分からないな。」というのが、率直なお気持ちだったのかなと思います。
- 委員 意外と「わからない」、と「無回答」を合わせると半分だったので、ちょっと分かりにくかったのかなと感じました。
- 委員 質問ではありませんが、前回と比較し、全体的なことでは、前は、自分達が文化芸術活動をしなければならないというようなことだったと思いますが、今回は、先程おっしゃったように子ども達の鑑賞だとか、自分達が文化芸術をやるのではなくて、鑑賞していくことも書いてあるので、その点については、よかったなど。
- 生涯学習課長 活動、活動と言われると、自分達も絵を描かなければならないというような感じがしてしまいますので。
- 委員 今回は、そういう面では、鑑賞であるとか、各方面に気を配って、書いてあるなと思いました。
- 生涯学習課長 それと、いろいろなイラストも、例えばSDGsなども挿入されており、この改訂（素案）を製本することになるのですか。
- 委員 これを基にいたしまして、例えば今日いただいたご意見でありますとか、パブリックコメントのご意見を反映させたものを製本することになります。
- 生涯学習課長 従いまして、ほぼこの形になると思います。
- 委員 全体的なことですけれども、前回と比べ本当に親しみやすく書かれているなと思いました。
- 生涯学習課長 ただ、本当にこういうことは、大事なことであるし、一つ一つ何か、担当の方は、芸術に対して熱心にならないといけないと思うのですね。
- 委員 例えば、大牟田音楽祭みたいなことを、もちろん予算があるから、予算を考えずにいくと、そうすると例えば金曜日、土曜日、日曜日と日替わりで、今日は大牟田高等学校の体育館でやっているとか、文化会館でやっているとか、土曜日は、文化会館でやっているとか、大牟田市内のどこかで、大牟田音楽祭など何かをやっているというようなことをできないかな。
- 委員 誰かが、一つのことに集中してそういうことはできないのかなと、例え

ば場所を変えて、今日は私がやってみまじょうとかいいながら。

例えば文化会館に限らず、どこかで体育館などでやってみてもいいでしょうし。

音楽は、みんな共通していると思うので、何かをやれないかなと思います。そういうことをここに書けということではなく、大牟田の芸術。

大牟田には、漫画家が集団でいらっしやるじゃないですか、萩尾望都さんは小倉に取られてしまったような感じがしますけれども、こちらの出身ですから。萩尾望都さん、それからジャー坊書いた方。日野さんなどいらっしやるから、何かもっとできないかなと。漫画の文化を大牟田にと思いました。

生涯学習課長

実は、三池カルタ・歴史資料館で「まんがカルタまつり」というのを開催しております。今、ご指摘いただいたように、大牟田市も多くの漫画家を輩出しておりますので、大牟田ゆかりの漫画家さんの作品や漫画家も紹介しています。

それと映画「いのちスケッチ」の主人公が、漫画家をめざして上京して挫折するという物語ですけれども、その主人公は、現在は亡くなっていますが、三隅健さんという漫画家、その方をイメージしながら、作り上げたんだということを、瀬木監督は、おっしゃっていました。そういった方との関連というものもカルタ館で展示しております。

もし、お時間ございましたら是非お越しいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

委員

私も個人的に良い資料になっていると思います。

17ページの「子どもがいつそう文化芸術に親しむためには何を充実させる必要があると思うか」の自由意見に「各家庭の経済力の差で文化芸術活動を体験できる機会に差がでる」とあります。そういうことを実際感じ取っていたので、学校でも企画などして、鑑賞事業のときには、保護者にはお金を払ってもらい、そこで資金を得るようにしては如何かと。

私も子どもが、学校で演劇があるときは必ず行かせていただいたので、先程、山本委員がおっしゃっていた音楽など、身近に触れ合う機会が子ども達もあるといいなと思いました。

それから、この自由意見は、私もこのような思いもあるので、聞かせたいけど聞かせられない、見せたいけど見せられないという保護者の方もたくさんいらっしやると思うので、これは載せていただいてよかったと思います。

あと一つ、14ページの「文化芸術に関する市民意識調査」で、今回の調査で回収サンプル数が414件で回収率が41.4%になっておりますが、毎回このような感じなのかと思ひまして。

生涯学習課長

今回の調査においては、大体4割を超えると客観的なものとしてとらえることができると聞いています。

委員 郵送料とかも掛っているので、「あなたの意見が大事なのよ」とかで、回収率の向上が図られたらと思いました。

委員 22ページで、文章の上から3行目に若い世代が「音楽」、「映画」といった文化芸術に参加・鑑賞したとありますが、私は、文化芸術といたら、どちらかという、絵画鑑賞とかクラシック鑑賞などのことが体に染み付いています。

若い世代の人たちにしてみれば、「音楽」も、「映画」も、「漫画」も全部文化芸術なのではないのかなと思いますので、若い方が参加するに当たって、先程の話ではありませんが、音楽イベントとかを企画できるようなことをさせていただくことで、文化芸術ってそんな固いものではないということが伝わっていったらいいなど、このいただいた資料がすごく素敵だったので、若い世代にもっともっと伝えられないかなと思っていて、さっきの資料もよかったらそういうこともしていただけたらうれしいです。

中州ジャズとかもあります、元々は、中州の端っこのところで始まったものなのに、今ではまちのいろいろなところであっています。

どこででもできるのかな、大きな会場がなくても出来るということでは、もしかしたら、高校生などの若い世代では考え付くこともあるかもしれないので、そういうチャンスを若い世代にあげて欲しいと思います。

教育長 他に質問はありませんか。

無いようでしたら、修正は事務局に一任でよろしいでしょうか。

(承諾する旨の声あり)

教育長 他にご意見、ご質問はありませんか。

無いようでしたら、以上で10月定例会を終わります。

令和元年10月16日(水)

閉会 15時47分